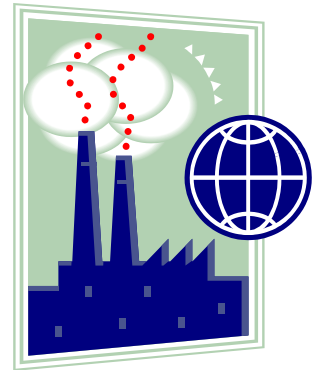


都立蔵前工業高等学校 設備工業科

設備工業科があるのは、全国に26校、東京に1校です！

設備工業科ではどんな事を勉強するのか？

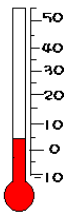
建物を建設したとき外側を作るのが建築で、そこで人が生活できるようにするのが設備工業です。
具体的には、空調設備や給排水設備、電気設備などの建築設備について学習します。



授業内容



1年生



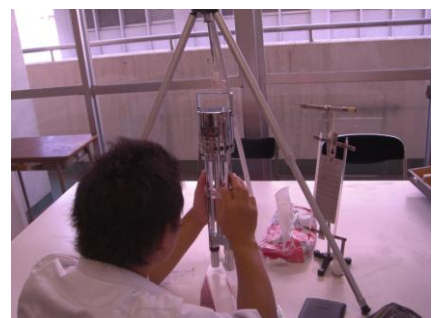
製図：文字・線の練習、木造住宅平面図
実習：環境(温度の測定、光の測定など)、
測量(距離の測定など)、溶接、電気工事(配線)
座学：設計(力学)、計画(設備環境)、情報技術基礎



2年生



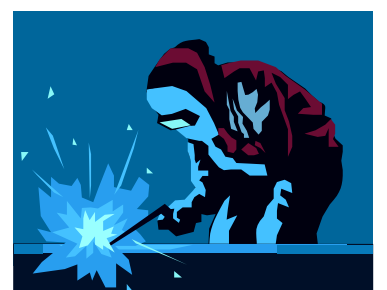
製図：木造住宅詳細図、かなばかり図、設備系統図
実習：管工作(配管)、衛生(流体実験)、CAD
座学：衛生(給排水、防災)、空調(空調の種類、概要)



3年生



製図：卒業設計
実習：板金(ダクトの製作)、空調(冷暖房実験)、制御(シーケンス制御)
座学：計画(設備施工)、空調(ビル内の冷暖房装置概要、設計)
衛生(設備設計)、法規(管工事)



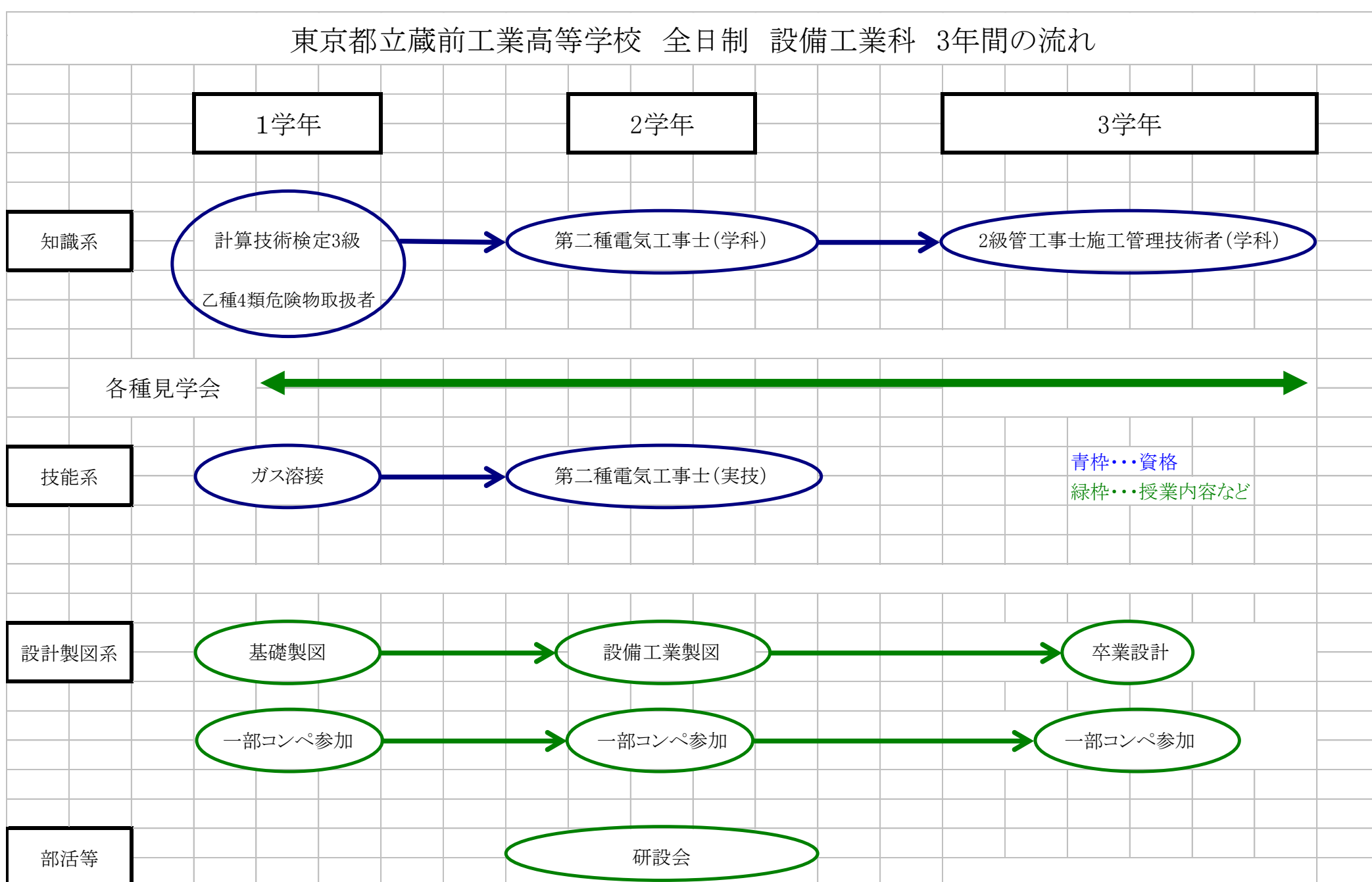
3年間通して様々な資格にも挑戦できます！

計算技術検定3級、ガス溶接技能講習修了、第2種電気工事士、危険物取扱者乙種4類、2級管工事施工管理技士

上記は全員受験します。

そのほかに危険物取扱者各種、消防設備士各種、高圧ガス製造保安責任者 第3種冷凍機械、ボイラー技士

などに挑戦することができます。



FUTURE

多種多様な技術を習得して卒業した人たちは世の中にこのような活躍をしています。

設備技術者	資格を持って、工事の監督をする仕事
設備設計	冷暖房や給排水の設計をする仕事
設備関係の技能職	資格を持って、実際にダクトや配管等の作業をする仕事
ビル管理	大きなビルにある冷暖房の機械等を運転する仕事。

Q1 設備工業ってなんですか？

A1 建物を建設したとき、外側を作るのが建築で、そこで人が生活できるようにするのが『設備工業』です。具体的には、空調設備や給排水設備、電気設備などのことを指します。全部を含めて『建築設備』ともいいます。建築物を人間にたとえると、『設備工業』は血管や心臓にあたります。設備工業科は建築設備を勉強する学科です。設備工業科は、未来に開けた都会型の学科です。

Q2 設備工業では、どんな勉強をするのですか？

A2 設備工業科の科目で、特色があるものは、『空気調和設備』、『衛生・防災設備』、『設備計画』です。『空気調和設備』は、冷房や暖房や換気など空調に関する勉強をします。『衛生・防災設備』は、水道の給水や給湯設備、スプリンクラー等の消火設備に関する勉強をします。『設備計画』は、設備全体の基礎の学習と、環境に配慮した設備の選定が行えるような勉強をします。

Q3 設備工業科の卒業生は、どんな仕事につきますか？

A1 就職先は、大きく4つの分野に分かれます。

1. 『設備技術者』
資格を持って、工事の監督をする仕事
2. 『設備設計』
冷暖房や給排水の設計をする仕事
3. 『設備関係の技能職』
資格を持って、実際にダクトや配管等の作業をする仕事
4. 『ビル管理』
大きなビルにある冷暖房の機械等を運転する仕事。

『設備技術者』の仕事は、『施工管理』とも言われます。仕事の内容は、大学や専門学校の卒業生と同じです。つまり、大卒・専門卒を相手に、仕事で勝負することになります。

Q4 設備工業科の卒業生は、設備の仕事しか、つきませんか？

A4 設備関係の仕事に就いてくれればうれしいですが、卒業生は、さまざまな分野に進んでいます。設備工業を学んだ上で、様々な職業に就くことは、住環境の向上を社会に広げることになります。卒業生の職業には、設備工業関連はもちろん国家公務員や運輸・輸送関係、美容師・理容師から芸能人まで多彩です。また、社長さんが多いのも設備工業科の卒業生の特色の一つでしょう。入学したら先輩の有名芸能人の名を聞いて下さい。

Q5 不景気ですけど、設備工業科を卒業して、就職先はありますか？

A5 米国のリーマンショックで世界中がダメージを受けました。設備業界も不景気の波は避けようがありません。しかし、設備工事業は新築の建物が無くても、10年ごとに改修の仕事があるし、毎日のメンテナンスもあるので仕事は途切れません。古くから業界に支えられてきた設備工業科は、昨年度（平成22年度）も就職解禁から続々と内定をいただきました。本年度（平成23年度）も堅調に推移しています。最近の就職情勢を見ますと、他校の機械科や電気科の卒業生が設備の業界を目指しているようです。最初から設備工業科に来ていれば良かったのに！！